

2011年9月27日（火）

フジサンケイビジネスアイ

12 成長企業

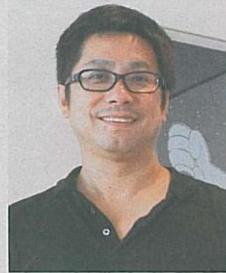
2011年9月27日(火)

Fuji Sankai Business i.

第三種郵便物認可

## Next Stage

## ARで世界標準を目指す



タブレット型パソコン（P C）やスマートフォン（高機能携帯電話）などカメラ付きの情報端末をかざすと、現実の風景に情報や画像が浮き出すかのように見えるAR（拡張現実）の普及が本格化している。祝福メッセージを贈るグリーティングカードや映画などのプロモーション向けにARのプラットフォーム（基盤）を開発したアララ。同社のアプリ「アラプリ」をダウンロードすれば、タブレットPCやスマートフォンで簡単にARを楽しめる。岩井陽介最高経営責任者（CEO）は、企業のプロモーションにおいて、ARは確実に存在感を増していると語る。

——アララのARの強みは

「従来のARでは、プロモーションやキャンペーンをするたびにソフトウェアを開発して画像などのコンテンツとソフトウェアが一体となっていた。それに対し、当社が開発したアラブ

リでは、利用する企業はコンテンツを用意して当社のサーバーにアップロードするだけで済むので、開発にかかるコストや時間も大幅にカットできる」

——利用者側のメリットは

「アラプリを1度ダウンロードすれば、継続的にさまざまなコンテンツを利用できる。アラプリとともに、端末がARを読み込むトリガーとなるマーク『QRAR』を開発した。これは、当社のサーバーのどこにコ

いわい・ようすけ 關西学院大卒。1989年リクルートコミュニケーションズ（現コスモスイニシア）入社。その後、リクルートビルマネジメント（現ザイマックス）に転籍。96年にインターネットサービス会社のパラダイスウェブを設立し取締役就任。98年サイバードを設立し専務就任。2006年リベラルを設立、08年代表取締役CEO就任。10年10月にアララを設立し、現職。45歳。大阪府出身。

——ARの普及状況は

「企業がプロモーションを考えるとき、フェイスブックなどのソーシャルメディアとスマートフォンに加え、ARがキーワードとなっているようだ。アラ

プリには、ARと一緒に撮影した写真をソーシャルメディアに掲載する機能もあり、3つのキーワードすべてにあてはまる点で注目していただきたい」

——一般的な利用者がオリジナルのARを作成ができるサービスも開始した

「アララARメーカー」というサービス。例えば、このアリ

で誕生日メッセージを録画し、作成したQRARをグリーティングカードに印刷して送るといった使い方ができる。新しいコミュニケーションのあり方として提案していきたい」

——今後の展望は

「ウェブ系のサービスで日本

で世界中で使われているもの

がなかなか生まれてこない。当

社のサービスがARの世界標準

となるよう頑張っていくことを

使命と考えている。すでにマレ

ーシアやシンガポールなどから

問い合わせが多くいただいている。

アラプリについては、2012年

年末までに世界で100万人のダ

ウンロードを目指す」

(松田麻希)

## 海外検索エンジン ヒットされやすく

### ■アイレップ、サイト構築支援

アイレップ（東京都渋谷区）は、企業などのウェブサイトが海外市場で対象国の検索エンジンに認識されるように後押しするサービスの提供を開始した。海外事業強化の一環で進出国

・地域の現地語でウェブサイトを構築する企業が増えている。しかし、単に現地語サイトを構築しただけでは、現地のヤフーやグーグルなどの検索エンジンにうまく認識されず、検索結果に社名すら表示されないことも少なくない。

アイレップのサービスは、企業名や商品・サービス名などのブランドキーワードが認識され

やすいように工夫して検索結果に表示されるサイトの構築をサポートする。

費用は、各地の検索エンジンに認識されるための設計方法などを詳細にまとめた「グローバルSEOスタートアップガイドライン」の利用と簡単な改善提案の組み合わせで25万円からを想定。また、翻訳が必要な場合は、別途翻訳費用がかかる。

▷本社=東京都港区南青山1-2-6 Lattice aoyamaB1階（☎03・6692・1006）  
■会社概要  
▷設立=2010年10月  
▷資本金=1000万円  
▷従業員=10人  
▷事業内容=スマートフォン向けAR（拡張現実）アプリの企画・開発